

研修報告書No. 1 1

研修先：佐川町立高北国民健康保険病院

仁淀川町国民健康保険大崎診療所

今回、高知県の高北病院と大崎診療所で1ヶ月の地域医療研修をさせて頂きました。病院、診療所ともに感じたのは高齢者率の高さです。入院患者、外来患者ともそのほとんどが高齢者の方々でした。訪問診療に伺った際も100歳をこえる方が珍しくなく、中には訪問サービスは受けているものの独居で生活をしている方もいました。いわゆる老老介護の家庭も多く見られました。しかし、今回出会ったのは皆明るく前向きな方々ばかりでした。これは医療従事者を含め地域の人達が家族のような距離感で皆で支えていこうという気持ちがあるからではないかと感じました。100歳体操を含め地域の健康増進の場にも積極的に楽しそうに参加している方が多く、そういった考えが地域に根付いていると感じました。

大学の研修では病棟業務が主な研修でしたが、それに加え検査技師、放射線技師、栄養士、作業療法士、理学療法士、ソーシャルワーカーなどの医療従事者の方々と接する機会が多くありました。そのため改めてそれぞれの職種の役割を知り、チーム医療で病院は成り立っていることを再認識する機会となりました。特にいつもは検査室の方をお願いしているようなグラム染色、真菌の鏡検などの検査を自ら行うことでその手技の仕組み、結果の解釈の仕方を学び直す良い機会となりました。

今回の研修では地域医療を実際に身を持って経験することができました。普段の研修病院とは異なる患者層、医療形態を持つ場での研修に最初は戸惑いや驚きが多かったのですがその違いを認識することも含めとても良い経験になったと感じています。そしてどんなに地域で協力した医療を行っていたとしても医師不足、医療従事者不足があることも実感しました。今回の経験をもとに将来地域医療にも貢献することが出来るようにならなくてはと感じました。